

前回粒剤使用30日後

対象作型	散布月日	散布方法	基本防除(蚕毒規制外地域)				蚕毒規制地域代替防除				
			殺菌剤(白サビ病中心の防除)			殺虫剤及び殺ダニ剤					
			使用農薬名	FRACコード	散布濃度	使用農薬名	IRACコード	散布量	使用農薬名	IRACコード	散布濃度
春植え9～10月咲き	前回粒剤使用日より30日後	株元散布	-	-	-	ダントツ粒剤(粒剤3回目)	4A	6kg/10a	-	-	-
防除ポイント	・前回使用の粒剤効果がきれるタイミング(前回処理より30日後)で使用し、粒剤による殺虫効果を持続させ生育期初期の害虫(アザミウマ・アブラムシ・ハモグリバエ)対策として必ず使用する。										

土寄せ時

対象作型	散布月日	散布方法	基本防除(蚕毒規制外地域)				蚕毒規制地域代替防除				
			殺菌剤(白サビ病中心の防除)			殺虫剤及び殺ダニ剤					
			使用農薬名	FRACコード	散布濃度	使用農薬名	IRACコード	散布量	使用農薬名	IRACコード	散布濃度
9月～10咲き	前回粒剤使用日より30日後	株元散布	ユニフォーム粒剤	C3, A1	18kg/10a	-	-	-	-	-	-
防除ポイント	・粒状の殺菌剤であり、株元散布により殺菌効果を持続させ白サビの発病を防ぐ。白サビ病に弱い品種のみ使用する。										

定期防除

対象作型	散布月日	散布量	基本防除(蚕毒規制外地域)				蚕毒規制地域代替防除				
			殺菌剤(白サビ病中心の防除)			殺虫剤及び殺ダニ剤					
			使用農薬名	FRACコード	散布濃度	使用農薬名	IRACコード	散布濃度	使用農薬名	IRACコード	散布濃度
秋植え7月咲き 8月咲き ～ 10月咲き	6月24日	300リットル	アミスター20フロアブル	C3	2,000倍	ウララ50DF	29	5,000倍	→7月咲きに対しては【蚕毒】スピノエース又はトクチオン(乳)を散布する		
	7月1日		アンビルフロアブル	G1	1,000倍	【蚕毒】アクセルフロアブル	22B	1,000倍	マラソン(乳)	1B	2,000倍
	7月8日		マネージ乳剤	G1	1,000倍	【ダニ】【蚕毒】アグリメック	6	500倍	【ダニ】コロマイト乳剤	6	1,500倍
	7月15日		ストロビーフロアブル	C3	2,000倍	プリンスフロアブル	2B	2,000倍	-	-	-
	7月22日		兼商ステンレス	M03	2,000倍	【蚕毒】スピノエース(顆粒水)	5	5,000倍	ベストガード(水溶)	4A	1,000倍
9月咲き ～ 10月咲き	7/16～18日	300リットル	ペンコゼブフロアブル	M03	800倍	【蚕毒】フェニックス(顆粒水)	28	2,000倍	ディアナSC	5	2,500倍
	7月22日		トリフミン(水)	G1	1,000倍	【ダニ】スターマイトフロアブル	25A	2,000倍	→必ず散布すること		
	7月29日		アミスター20フロアブル	C3	2,000倍	ウララ50DF	29	5,000倍	-	-	-
	8月5日		サプロール(乳)	G1	1,000倍	マラソン(乳)	1B	2,000倍	-	-	-
防除ポイント	<p>・梅雨の期間は1年の中で最も白サビ病が発生しやすい時期となるため、重点警戒期間として特に殺菌剤の使用を徹底する。</p> <p>・万が一、新芽・新葉に白サビ病が発生した場合、直ちに治療剤および予防剤を同時使用する。下記※1</p> <p>※1 治療剤(アミスター20フロアブル2,000倍・ストロビーフロアブル2,000倍・トリフミン水和剤1,000倍・サプロール乳剤1,000倍 等) + 予防剤(ペンコゼブフロアブル800倍・ダコニール1000 1,000倍・兼商ステンレス2,000倍 等)</p> <p>・ダニ被害の有無にかかわらず、ダニ剤の定期散布は必ず実施する。また葉裏まで丁寧に行う。ダニ被害、幼・成虫が目視できる場合は殺ダニ効果の高い農薬に切り替えて防除する。</p> <p>・オオタバコガ等の鱗翅目の幼虫がみられる場合はフェニックス顆粒水和剤2,000倍またはアクセルフロアブル1,000倍を使用する。老齢幼虫へはアクセルフロアブルを使用する。</p> <p>・アブラムシの被害がみられる場合はウララ50ドライフロアブル5,000倍を使用する。効果が現れるまで時間がかかるため収穫直前ではなく早めに使用する。</p>										